

令和3年度第1回総合計画等推進市民委員会意見への回答について

令和3年度第1回市民委員会(R3.7.12 開催)において報告した、令和2年度市民委員会意見への対応状況に対し、委員から新たにいただいた2件の意見に対し回答いたします。

■■ 意見1 ■■

基本目標1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす

【施策1】地域産業の成長・発展 ①農水畜産業の競争力強化

令和2年度 市民委員会意見	・畜産に関しては、これから大規模に行う方が多いと思う。青森県は他県に比べて規制が厳しいが、地球温暖化で、どんどん北の涼しい方に畜産系があがってきているので、この農業・畜産という分野は力を入れていった方が良いと思う。
担当課	農林畜産課
対応区分	対応済
対応状況 ※令和3年度第1回 市民委員会で報告	当市の畜産業は、夏季冷涼な気候や八戸飼料穀物コンビナートの立地により畜産業が発展しており、今後も成長が見込める産業と捉えております。 当市では、畜産業（養豚・養鶏）及び関連産業の振興を図るため、「八戸地域畜産関連産業振興ビジョン」を策定し各種施策に取り組んでおり、今後も継続して参ります。



令和3年度第1回 市民委員会意見 ※上記対応状況への 意見	・畜産業というくくりで、養豚と養鶏と書かれていますが、最近では牛ということもあるので、牛もここに付け足したほうが良いのではないかと思います。鶏や豚が多いとは思いますが、牛も付け足すのはどうでしょうかと思います。 (※八戸地域畜産関連産業振興ビジョンに牛の生産について追加するなど、牛の生産への支援強化に関する意見)
担当課	農林畜産課
意見への回答 (対応方針など)	酪農や肉用牛の生産振興に関しては、「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」で振興計画を策定することとなっており、国の策定方針に基づき青森県が計画を策定しており、当市でも県の策定を受け「八戸市酪農・肉用牛近代化計画」を平成28年3月に策定（計画期間10年）し対応しております。 しかし養豚・養鶏には策定が定められていませんが、県の「青森

	<p>県養豚・養鶏振興プラン」の策定を受け、当市が独自に養豚・養鶏及び関連産業に特化した振興計画を策定したものであることを補足します。</p>
--	---

■■ 意見2 ■■

基本目標4 住み続けたいまちをかたちづくる

【施策3】観光地域づくり・ブランディングの推進

<p>令和2年度 市民委員会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標4 施策3で観光地域づくり・ブランディングの推進があり、様々な個別施策があるが、これに対するK P Iが宿泊者数というのが疑問である。実際にソフト事業はDMO（V I S I Tはちのへ）で、市では施設の管理等をされていると思うが、その中で地域づくり・ブランディングが、どう結びついて進んでいるのか、また、それを計るのにこの宿泊者数というK P Iを設定していることについて、関連性が見えないと感じている。 ・今後、この観光地域づくり・ブランディングを推進するのであれば、時代の流れに沿って、更なる市とDMOの役割分担、施策やK P Iの見直しが必要ではないかと感じた。
担当課	観光課・政策推進課
対応区分	対応済
<p>対応状況 ※令和3年度第1回 市民委員会で報告</p>	<p>市では、観光地域づくり・ブランディングの推進を通して、当市の魅力や価値を県内外に伝えることで、当市の認知度の向上、更なる誘客の推進、ひいては宿泊客の増加につなげて参りたいと考えております。</p> <p>なお、K P Iの「宿泊者数」については、入込客数や認知度等に比べ、当市を訪れる観光客の実態を正確かつ継続的に把握できること、また、消費額も日帰り客に比べ高く、当市への経済波及効果が大きいと考えられることから指標にしております。</p> <p>今後も、各種施策を通して地域の稼ぐ力を最大限に引き出すため、VISITはちのへと市の役割分担を明確にしつつ、連携・協力体制を強化して取り組んで参ります。</p>



<p>令和3年度第1回 市民委員会意見 ※上記対応状況への 意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の内容では「宿泊者数がKPIでは関連性が見えないと感じている」ということに対して、対応状況の方では「宿泊客の増加につなげて参りたいと考えている」ということで、全く矛盾を感じたのですが、これは答えになっているのかなと。 ・例えば、観光地の観光施設を訪れる人の数は指標にはならないのでしょうか。泊まらなくても、今は特にコロナ禍ですので、日帰りの方もけっこう多いような気がします。通常の場合と今は若干違うので、あてはまるかは分からないのですが、観光地を訪れる人の数というのも何らかの形で把握できれば、指標になるのかなと思いました。
<p>担当課</p>	<p>観光課・政策推進課</p>
<p>意見への回答 (対応方針など)</p>	<p>観光振興に関する指標として、入込客数や認知度、ホームページのアクセス数などが考えられます。</p> <p>委員ご指摘のとおり、観光地域づくり・ブランディングの推進状況を把握する指標として「観光施設を訪れる人数」についても、有効な指標の1つであると考えております。</p> <p>一方、観光施設の入込客数は、人数のカウントの仕方が施設ごとに異なること、また、市内の方も多く含まれることから、「観光客」の人数を正確に把握することが難しいという点も考えられます。</p> <p>当課としては、市外から訪れる観光客の割合が高く、観光消費額も大きい「宿泊者数」の方が、本市への経済波及効果に大きく寄与するとともに、毎月定期的に精度の高い実績値を把握することができることから、「宿泊者数」を指標として設定したものです。</p> <p>なお、地域観光づくりブランディングの推進とKPIの「宿泊者数」との関連性についてですが、当課としては、地域観光づくりブランディングの推進が、本市の魅力の向上、認知度の向上、そして誘客につながり、結果として宿泊者数も増加していくということで、関連性があるものと認識しております。</p>